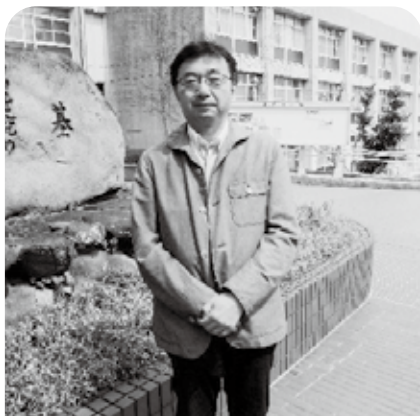
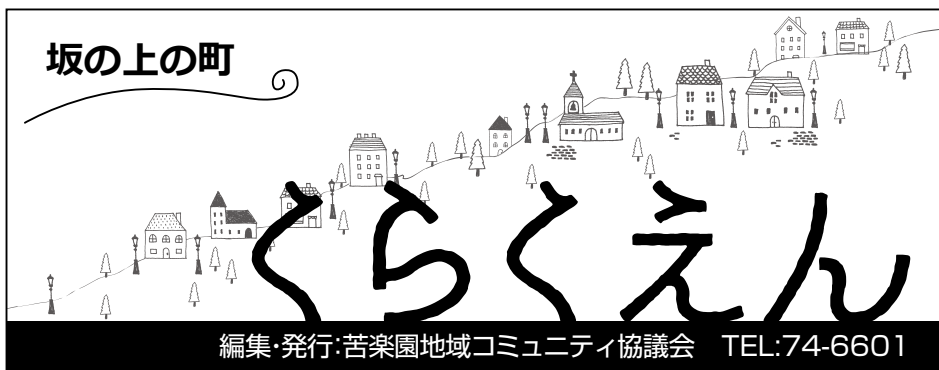




なが めま たか ゆき
長沼 隆之 さん

西宮甲山高校同窓会「基の会」会長
昭和42(1967)年、西宮市生まれ。
甲陽園小学校、大社中学校、西宮甲山高校(1
年生)、関西大学社会学部卒業。平成2(1990)
年、神戸新聞社入社。阪神総局、文化部、社会
部、姫路支社編集課、報道部を経て、平成31
年3月から報道部長。令和3年3月から論説副
委員長(現職)。阪神・淡路大震災で西宮市
の自宅が全壊したが、発災当日から被災地取材に
当たる。現在は社説やコラムを執筆。



編集・発行: 苦楽園地域コミュニティ協議会 TEL: 74-6601

まちの宝人 — 長沼 隆之さん

校名は消えても、

母校愛は不滅です。

県立西宮甲山高等学校(以下
甲高)の同窓会会長を務め
る長沼隆之さんにインタビュ
ーしました。

——いつから会長を……

実は私、甲高の第1回生で、
初代生徒会長でした。その縁
もあって、卒業と同時に同窓
会会長を依頼されました。本
格的に同窓会活動を始めたの
は甲高創立20周年記念式典の
実行委員長を頼まれてからです。
創立30周年は記念式典と
宝塚ホテルで祝宴を実施しま
した。

——創立当時の学校は……

1回生だけで、5クラス約
230人在籍していました。
先輩がいなくて、とにかく
開放的で、みんな仲が良かつ
たと思いますね。

ただ、校舎が未完成で、西
宮西高校(当時)の校舎を借
りて授業を受けていました。
今の校舎に移ったのは、その
年の12月でした。もちろん体
育館もプールもなく、プールの
授業は樋之池の市民プール
を利用していました。冬は寒
くて教室で震えていたのが、
今は懐かしい思い出です。

——同窓会の名称は……

「基の会(もとのかい)」
です。「己を究め ふれあひ
のなかに 明日を拓く」。校
訓に当たる「基」の言葉の教
えを卒業しても忘れずにいた
い。そんな願いを込めて名付
けました。

卒業生全員が会員で、現在



同窓会報創刊号

約8500人います。毎年、
卒業式の前日に、同窓会入会
式を行っています。同窓会か
らは祝い品として、全員に卒
業証書を包むファイルとコサ
ージュを贈っています。

——同窓会はどんな活動を……

活動の基本は、母校支援と
同窓生の親睦・交流です。同
窓生向けには、年に1回、会
報の発行を行っています。母
校支援としては、これまでコ
ロナ禍における教室へのク
ラーの寄贈、ホワイトボード
の設置、横断幕の贈呈などが



贈呈した横断幕を背に

あります。毎年6月の文化祭
「甲山フェスティバル」にブ
ースを出したり、食堂の運営
支援をしたりしています。

また、年に1〜2回、学校
を開放してもらい、卒業生が

集まる「ホームカミングデー」
も催しています。来年3月には
最後の「ホームカミングデー」
を予定しています。

——これからの活動は……

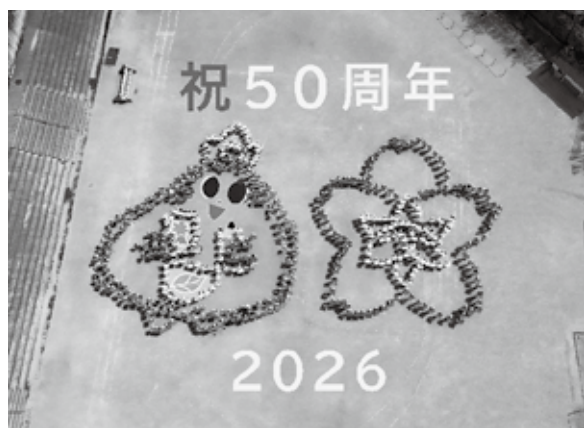
西宮北高校の同窓会とも話
し合い、それぞれで活動して
いくことになりました。具体
的な活動についてはみんな
考えていきたいと思っています。

今考えているのは、「甲山
高校」の名をどこに残した
いと思い、学校側とも協議し
ています。たとえばバスター
ミナルの近くに、玄関前にあ
る「基」の石碑を移設できな
いかなどと検討しています。
この地で学び、語り合った
日々を忘れないために。

同窓会会長として、卒業生
として、母校への思いを熱く
語る長沼さん。校名がなくな
っても、母校愛はさらに深ま
るものと確信しました。



石碑「基」の前で



ユニオンエンタープライズ WEST 撮影

昭和51 (1976)
年に創立された
苦楽園小学校



みんなの思いを一つに！ 創立50周年記念航空写真

苦楽園小学校

創立50周年を記念した航空写真の撮影が5月13日、西宮市立苦楽園小学校で行われました。当日は天気にも恵まれ、先生をはじめ約500人が参加。子どもたちは色とりどりの画用紙を手に持ち、同校のイメージキャラクター「くらくこ」と校章を校庭いっぱいに描きました。

つと、子どもたちからは「わあー！」と歓声が上がリ、空を見上げながら楽しんでいる様子が見られました。

また、カメラマンから「ドローンは『大きなハチ』という意味なんですよ」と教えてもらい、その後、ドローンの音を聞かせてもらうと、「本当に蜂みたいな音！」と驚きの声も上がっていました。

創立50周年の思い出として、子どもたちの心に残る特別な1日となりました。

第2回 NK祭

県立西宮北高等学校・
西宮苦楽園高等学校

西宮北（以下北高）・西宮苦楽園高校の両校で、2回目の「NK祭」が6月12、13日に開催されました。今年のテーマは「ユートピア」。一人一人が尊重され、互いに支え合いながら理想の学校をつくり上げるという意味です。最後の文



熱演が続く3年生の演劇



楽しい出迎えゲート

化祭になる北高の願いが込められたテーマになりました。

1年生は展示、2年生はアミューズメントでにぎわいました。3年生の演劇は、映画やアニメ、AI、戦争を題材にしている、観客を引き込む演出で大変盛り上がりしました。

「有終の美 甲高フェス」

県立西宮
甲山高等学校

西宮甲山高校では「第42回 甲山フェスティバル」を6月11、12日に開催しました。フェスティバルのテーマは、『有終の美』。今年度で閉校となる最後のフェスは3年生（42回生）が中心となり、劇と模擬店を1学年だけでこなすハードな挑戦となりました。



先生も一緒にオンステージ♪



すてきな3年間にありがとう♪

上がりしました。演目と演目の幕間では、生徒会のメンバーが進行する楽しいクイズで会場を笑いの渦に巻き込み、有終の美を飾るフェスとなりました。

時間/曜日	月	火	水	木	金	土
8:30	○	○	○	△	○	○
12:00				△		
15:45	○	○	○	△	○	△
19:00				△		

休診/木曜・土曜午後・日曜・祝祭日

(電話) 0798-72-4601(代)
https://www.sonodanaika.com

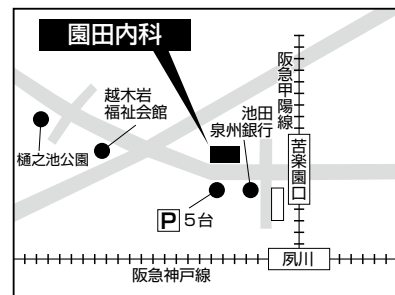
内科 胃腸科 循環器科



医療法人社団

園田内科

西宮市南越木岩町14-7
阪急苦楽園口駅 西側徒歩約3分



プロの技と心を学ぶ「トライやる・ウィーク」

苦楽園中学校

平成10（1998）年度から兵庫県独自の取り組みとして始まった、中学2年生の生徒たちが体験する「トライやる・ウィーク」が、5月18、22日の5日間で実施されました。生徒たちは、約50カ所の事業所や文化施設などで、体験を通していろいろなことを学びました。

そのうちのひとつ、苦楽園地域にある美容室P A R T Y（パーティ）で、2人の生徒が活動しました。期間中は接客やお茶出し、クロス掛け、用具の洗浄など、実際の店舗運営に関わるさまざまな業務を体験しました。クロスを掛ける際には、しわにならないよう細心の注意を払うなど、プロの仕事の難しさを実感していました。

また、本格的なメイクや、マネキンを使用したヘアアレンジを教わる機会もありました。編み込みの技術を学んだ際は、上手になるまで何回も積極的にチャレンジし、スタッフから絶賛されるほど上達。帰宅後に家族へ実践し、「うまくできた」といううれしい報告もありました。



メイクの仕方を学びました。

初めは、緊張から指示を待ただけだった生徒たちは、次第に「今できること」を自主的に探して、切った髪の毛の掃除など進んで動けるように成長しました。

生徒たちは「お客さんからの感謝の言葉がうれしかった」「人と話すのが苦手だったけれど、好きになった」と笑顔で話すなど、大きな自信になったようです。

地域に支えられ、今後の生活にも役立つ多くの学びを得た1週間となりました。



クロス掛けも上手に出来るように！

すてきな音色に包まれて
ハーモニカコンサート

夙川宝プリスクール

夙川宝プリスクールでは、6月12日に「もりけんさんのハーモニカコンサート」が行われました。もりけんさんは、毎日の朝会で歌っているなじみのある数々の童謡を演奏。それに合わせて、園児たちは歌ったり、体を揺らしたり、全身で聴き入っていました。

2本のハーモニカを重ねて吹いたり、穴が四つしかない5cmほどの小さなハーモニカからきれいな音を響かせると園児たちはびっくり！ リクエストしたアニメ曲は、楽譜がなくても即興で演奏されて大喜び！

園児たちからはお礼に、練習をしていた『かえるの合唱』や『メリーさんのひつじ』を披露。もりけんさんから「上手だったね！」と褒められて笑顔の園児たちでした。



みんなで上手に吹けたよ！

笑顔あふれるポウリング大会

苦楽園子ども会

苦楽園子ども会では6月21日、今年度最初のイベントとしてポウリングへ行きました。参加した子どもたちは、順番やルールをしっかり守りながらプレーし、ストライクやスペアが出るたびに友達とハイタッチ。会場は笑顔と歓声に包まれました。初めてポウリングに挑戦する子どももいましたが、お互いに応援し合いながら楽しい時間を過ごすことができました。

イベントの最後に表彰を行いました。スコアの下2桁が当日の日付「21」に近い順に名前が呼ばれ、台に並べられたさまざまな景品の中から好きなものを選んでいました。また、参加した子どもたち全員に、お土産として花火をプレゼント。思い出に残るイベントとなりました。



元気に全員集合！

身近な材料で手作りモルック

苦楽園地区青愛協

苦楽園地区青少年愛護協議会は、6月13日に工作イベントを開催しました。小学生32人が参加し、手作りのモルックで遊びました。モルックとは、フィンランド発祥のスポーツです。順番に木製の棒を投げてピンを倒し、先に50点ピッタリになった方が勝ちとなります。

今回は木ではなく、プールスティック（ウレタン製の浮き棒）を材料にしてピンを作りました。糸のこで斜めにスティックを切り、点数の紙札を貼り付けて完成です。初めて糸のこを扱う子どもも多く、グラグラしないよう大人が支えて手伝いました。

1時間ほどで完成させた後は、1チーム4人に分かれて対戦です。視聴覚教室ににぎやかな笑い声が響きました。



かわいいピンができました

ボーイスカウトの魅力は!? ボーイスカウト西宮第13団

ボーイスカウトは、子どもたちの自発活動であることと未来で実践できるよう教育することを大切にしています。子どもたちにとっては、魅力的で挑戦がいのある冒険や活動は「心躍るゲーム」です。同時に、大人側からすると細やかな仕掛けや組織体制が、子どもたちの成長に良い影響や刺激を与える「目的のあるゲーム」になります。



50kmハイイク中、頑張りました

小学5年生、中学3年生が活動するボーイ隊では、4学年の異年齢を織り交ぜた班をいくつかつくり、毎週末にゲームを行います。その成績が月ごとの優秀班として表彰され、年度終わりに年間総合優秀班が表彰されます。



お手製「すのこ」作成中



班長の話しっかり聞くよ

ここでは語り尽くせない良さがボーイスカウトにはあるので、ぜひ一度、体験に参加してみてください！

ボーイ隊では、各班の班長が仲間たちにゲームに勝つための技能（結索や手旗通信、キャンプ技能、リーダーシップ）を教えます。大人が教えるのではなく、子どもたちが自発活動として自分たちに必要な技能を自分たちで磨き、互いに教育し合うことがボーイスカウトの一番の魅力です！

中学生からでも参加可能です！ プレミヤクラブで、今週末から一緒にゲームを始めよう！

年間行事予定

- 9月 基本動作・基本ルール
- 10月 応急処置・災害救助
- 11月 手旗・モールス信号
- 12月 地形図・方位の読図
- 1月 初日の出集会・耐寒訓練
- 2月 創立者の誕生祭
- 3月 春季キャンプ
- 5月 野外調理
- 8月 夏季長期キャンプ

●一緒に活動しませんか？
体験受付中です！
詳しくは、こちらから



お知らせ

次回11・12月号から

諸事情により、

苦楽園版は休載します。

— 苦楽園地域コミュニティ協議会

お気軽に 無料相談窓口にお電話下さい

内容証明

相続・遺言

国際結婚

各種許認可

契約書作成

アトラス行政書士法人

行政書士法人番号 第 2308101

〒662-0098

西宮市柏堂西町 14 番 25 号

9:00~17:00 土日祝休み

無料相談窓口



0120-005-185



アトラス行政書士法人

atlas-gyousei.com